

# 長崎市立橘中学校 学校だよりHP

## 「海風」

第4号 令和5年6月9日(金) 文責 校長 井上博之

### ○ 橘中学校の校訓と教育目標等について

本校の校訓は『自立』『敬愛』『創造』です。

【自立】⇒「自分の力で力強く生き抜き、自立できる心と体と知識を身に付けること」

【敬愛】⇒「誰に対しても分け隔てなく相手を大切に、愛情を持って接すること」

【創造】⇒「常に前向きな姿勢で新しい価値や文化を創造すること」

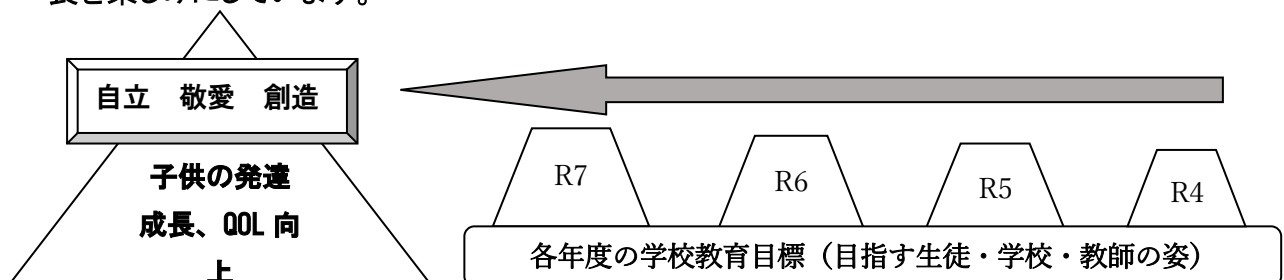
この校訓を常に意識し、橘中学校の全ての生徒が、誇りと自信を持ってほしいと思います。素晴らしい校訓を基に、今年度の学校教育目標を、『心豊かでたくましく、自他を尊び自立する生徒の育成』とし、めざす生徒の姿を次の4つに示しています。

「心身ともに健康で、たくましい生徒」  
「礼儀正しく、思いやりのある」  
「意欲的に学び、確かな学力を身につけた生徒」  
「豊かな心を持ち、社会に参画し貢献する生徒」

また、今年度、目標の具現化に向けて、重点的に取り組みたい内容として、以下の項目を挙げています。

- 人権及び命を大切にする教育の充実を図る
- 全ての生徒に分かりやすく、楽しく主体的に学べる授業を実践する
- 安心安全に学べる教育環境を整える(施設設備、教室、人間関係)
- 各教育活動の目的と学校教育目標との関連を考えながら、必要な時間や取り組み方、教育効果を検討する
- 業務の見直し、優先順位や効率化の検討、余暇の使い方、心身のリフレッシュと健康維持を心がけ、職員の働き方改革を推進する
- 教職員の資質・力量向上のための校内研究を推進する

「校訓」は、橘中学校の設立時に、地域や教育関係者の理念や願いを明文化した、共通の方向性を示すもの(伝統的)であり、年度初めに示す「学校教育目標」は、その理念に向かうための、各年度末の最終ゴールを設定したものです。令和6年3月末に、一人一人の生徒が、目指す姿にどれだけ近づくことができたか？自己評価をしてほしいと思います。みなさんの1年後の成長を楽しみにしています。



## ○ 教職員の校内研修を行いました

5月16日(火)の放課後に、職員で第1回校内研修を行いました。今回の目的は、先生方が橘中学校の現状や強み、課題等をどうとらえているのか？自由に意見交換を行い、職員で共通理解をすることです。

研究主任がファシリテーターとなり、各先生方の意見が自由に出しやすいよう工夫した、『ワールドカフェ方式』で行いました。小グループに分かれ、メンバーを入れ替えながら、アットホームな雰囲気で見解を出し合いました。生徒もそうですが、教師も10人いれば10通りの視点、とらえ方、考え方、気づき等があるはず。学校教育目標の具現化を進めるためには、まず、お互いの考えや意見を知ること、そのためには(本音で)対話することが必要だと考え、今回の校内研修を企画してもらいました。

先生方は、熱く、楽しく、それぞれの視点で橘中学校を語っていました。今、先生方からの様々な意見をまとめながら、橘中学校の強みは何か？課題は何か？強みを活かして課題をどう解決していくのか？どのようなことが必要か？等についてじっくりと検討していきます。



## ○ 長崎市 PTA 連合会定期総会と懇親会が開催されました

5月19日(金)に、長崎新聞文化ホール・アストピアにて、長崎市 PTA 連合会定期総会及び懇親会が行われました。本校 PTA 会長は令和5年度長崎市 PTA 連合会長として御出席され、会長挨拶や各議事の報告、審議等に大活躍されました。お疲れさまでした。

総会後に開かれた懇親会では、数年ぶりに来賓、表彰者、単 P 会長、校長等が130人以上同一会場に集まり、親睦を深めました。この数年間、多くの学校で PTA 活動や地域連携の活動が中止または縮小されてきました。今年度からようやく規制が解除され、今後の PTA 活動の目的やあり方、方法等を考えながら、コロナ後の新しい時代が来たことを、改めて実感しました。

## ○ 戸石夢みらい会議に出席しました

5月20日(土)9時から、たちばな漁協にて、「第2回戸石夢みらい会議」が開催されました。会場では6つの分野ごとのテーブルに分かれ、テーマに沿って、地域の現状、課題、その解決に向けた手立てやアイデアをグループごとに話し合い、発表しました。参加者の中には戸石小の児童、本校からも、2名の生徒が参加してくれました。各班で、戸石の未来を考えながら熱心な議論が行われ、みなさんの地域への愛情の深さを感じました。

